



# ドラゴン21 誕生！

3月3日、釜戸町の竜吟峡入口で、「ドラゴン21」の竜の頭の取り付けが行われました（高さ7m）。このまちづくり事業は、昨年5月に開始、延べ2,000人の町民が参加しました。なお、完成記念式典は、4月14日(土)に行われます。

広報

みずなみ

No.1014

2001年(平成13)

3-15

特集「まちづくりは人づくり」(市民のみなさんの熱い想いを紹介します。)

主な内容

- |                  |                 |                |
|------------------|-----------------|----------------|
| P 2 20年後の釜戸？     | P 3 宅老所物語       | P 4 世界一の茶つぼ    |
| P 5 世界一のこま犬      | P 6 稲津町を公園に     | P 23 美濃源氏      |
| P 24 まちづくり15年・大湫 | P 25 まちづくり元年・日吉 | P 28 パサラはまちの元気 |
| P 7 工業の状況        | P 8 議会だより       | P 11 コミュニティバス  |
| P 12 土地売ります      | P 14 教育委員会      | P 18 みんなの広場    |
| P 21 介護保険        | P 22 保健センター     | P 26 小・中学校皆勤   |

ドラゴン21 頭部  
(約2 m)

子ども会お面大会に参加する小学生324名がコミュニケーションセンターに集まってくる。50年以上続くお面大会は夏まつりの開幕を飾る名物行事である。



かつてセンターのまわりは田圃ばかりであったが、「緑と清流の住宅地、瑞浪市のベッドタウン」を目標に宅地開発が進められ、今では全て住宅地になっている。町の人口も6000人を越え、無人駅だった釜戸駅はJR職員が詰め、駅舎にはコンビニと喫茶店が入っている。

まず釜戸駅から500m以内の開発が考えられた。その方法は田圃1坪1株として組合を設立、4haの土地は組合の所有となり、地主は全て株主となる。

一部の土地をデベロッパーに売ることにより、全ての土地の宅地造成が出来た。下水がないため共同の合併浄化槽を設置した。合併浄化槽は町全体で推進している。上流の武並町ではいち早く下水が設置されていたため、土岐川はかつての清流を取り戻すことが出来、川遊びする人が多く見られる。現在は駅から1kmまでの開発が進み、8割方は終わっている。駅まで徒歩15分以内、名古屋駅まで1時間の住宅地である。

釜戸駅・コミュニケーション周辺の住宅地は歩行者優先となり、車の制限速度は20km。道路は子どもの遊び場であり、大人の交歓の場であ

り憩いの場となっている。小型のコミュニケーションバスが導入され、住民の足となり一日中町を回っている。「ウォーキングタウンかまど」

1998年に始まった「JRさわやかウォーキング」以来、健康のため歩く人が多くなった。中心部を歩行者優先にしたのに始まり、土岐川の土手に遊歩道が造られた。東西6kmの遊歩道である。南北には早くから整備された竜吟峡から、南へ佐々良木川を遡り、屏風山の天然記念物「花の木」を巡り頂上までの遊歩道が出来あがっている。毎月第4日曜日には「歩こう会」が行われ、町民だけでなく遠く名古屋からの参加者も多い。

ドラゴン21広場に多くの人々が集まっている。21世紀初めの年に造られた竜の卵のモニュメントは二十余年たった今も陶器特有の変わらぬ輝きをみせている。人々はスイセンの球根を受け取り、三々五々滝への道を登る。

今年、竜吟の滝と竜吟湖にスイセンを植えることになった。冬の竜吟峡に花を咲かせる計画である。すでに春には山桜とツツジがそしてナンジャモンジャが、6月にはアジサイが、夏にはムクゲが咲き、秋にはモミジと花の木の紅葉が染

ませてくれる。これらは多くのボランティア組織の活動により植えられた。

すなわち「ツツジの会」「滝にムクゲを植えよう会」「芝ざくら会」などなど。苗も買ってくるのではなく、自分たちで挿し芽、挿し木をした苗を植えるのである。

まちづくり推進協議会はそのついでに会のサポートをする。「芝ざくら会」は女性と高齢者が多いため、植える時には軽トラックを出したり、植える手伝いを協議会がする。それ以外、会は自主的に運営されている。「芝ざくら会」は土岐川と竜吟湖の土手を芝ざくらで飾ろうと20年近く活動している。

《21世紀最初の初夢です》

ドラゴン21：竜の焼き物モニュメント制作も完成が近づいています。

まちづくり推進協議会が出来てすぐにドラゴン21が始まった。保育園から小・中学生など延べ参加人数二千余名、賛助金も40%の町民から頂いた。「町民一人一人が何らかの形でかかわっていたら」という初期の目的は半ば達成されたと思う。ドラゴン21により町づくりの第一歩が始まった。この4月には国道19号線の横に巨大な竜の卵と生まれたばかりの竜が現れる。

## 宅老所物語

\*注1  
NPO法人陶宅老所いちにのさん

塚本恵子

平成10年の初め、陶公民館の大会議室。いろんな人がいた、民生委員、老人会、ボランティア、ヘルパー、いろんな職種の集まりだった。改修の中心となった大工OBの人も参加していた。当時の社会福祉協議会陶支部長さんの発案で開かれた会議だった。地域のボランティアグループの『地域で老いを支えるために』の講演会も5回目を迎えていた。小さな種からようやく芽が出始めていた。



2000年8月 夏まつり風景（宅老所前にて）

介護は家族だけで頑張るには限界があり、痴ほう老人を隣近所に隠すより理解してもらおう事の方がはるかに家族も本人も助かることが少しずつ浸透し始めた。そのため核となる場が必要であった。現実には82歳の一人暮らしの女性が困っていた。彼女は「おれはほけてもこの苦労して建てた家で暮らしたい。」という強い願いがあった。小間切れではなく流れをもった支えが必要であった。わがままかもしれないが、一人の願いを支えることがゆくゆくは地域の老いを支えることになるだろう。

5月までに5回の会議が開かれた。地域の理解と支援、スタッフとボランティアの連携、運営、そして何よりも生き生きとした場にしたいということが話し合われた。連合区長さんの強力な助けもあった。かねてから探していた普通の民家を見つけてくださった。その上、家主さんからは「地域の役に立つのならどんな風に改修してもらってもよい」との言葉までいただき、宅老所開所に向けて弾みがついた。ただ、スタッフも役員も近くに見本の無い宅老所を始めるには少なからず不安もあった。良いことだとわかっていてもである。清水の舞台から飛び降りるよ

うな決意（それもいちにのさん!! と掛け声をかけて）と大工の二三さんの名前にちなんで、名前を「陶宅老所いちにのさん」と決めたのである。

平成10年5月24日、大勢の方を迎えて開所式が行われ、次の日から、送迎、健康チェック、昼食、入浴サービスが始まった。定員5名のスタートだったが、3年目を迎える今は一日に15〜25名の利用がある。どんなに重い状態の方にも利用してもらいたいというのが基本で、自立の方から介護度5の方まで利用して下さっている。

一人一人の声を聴きながら接していく時間の中で、その人の歴史に彩られた人生が見えてくる。今が見え明日へとつながる光が見えてくる。独自の人生を背負った生きていく人間が見えてくる。地域の中にいるからこそ分かりあえることがある。

にぎやかな声がガラス越しに聞こえてくる。暖かい日差しの差し込む部屋で5〜6人が座卓を囲んで話している。「家でテレビだけ相手にしているとボケちまうでここに来るよ」「ここはあんきに來れるところだて」「ここに来るのが楽しみで早く起きるよ」、同じことを何度言ってもおだやかに聞い

てもらえる仲間がいることで、落ち着き笑顔が出てくる。

年をとれば誰でも物忘れが多くなる。少し前に何をしていたか思い出せない空白の記憶、年中捜し物をしている自分に対しての不安な気持ち。そんな時「あんじやない。みんな行く道だよ」と少し手伝ってもらおうことができれば、年をとってもあんきやよぬ。

そんな毎日の中で埋もれてしまった感情を呼び覚ましてくれる嬉しい驚きがある。思いがけない機転のきいた応酬に笑いが起きる。うん、なかなかおみごとと唸りたくなる。忘れてしまった情けを感じてホロリとする。人間がもともと持っていた輝きを引き出す関係づくりができるのはうれしい限りである。いろんな人がいるから仲間同士の助け合いが生まれ、ここに携わる人達が生き生きとしてくる。支えることが支えられることだと実感させていただいた。

市の援助に対してはもちろん、地域の住民の方、また多くのボランティアの方々に支えられていることに深く感謝をしたいと思います。

\*注1 平成11年9月にNPOの認証を得る。

・市は昨年10月に、全市宅老所計画を発表、平成13年度から各小学校区毎を単位として整備を進める予定。

## 茶つばに見るまちづくり

## 陶町街づくり推進協議会

企画広報部長 加藤 輔之

協議会発足後14年が経過しようとしている。小里川ダム計画をきっかけに、「危険で地域から嫌われるダム」を「地域発展の起爆剤」にしようとしてきた。そしてさま

ざまなものができ、そのたびにお祭りをやり喜びを分かち合ってきた。

「大川こま犬」・「茶つば」はギネスにのり名実とも世界一となった。

しかし、結果としての「茶つば」もさることながら、これを制作する過程に数々のドラマがあった。丸一年以上もかかった大事業であった。

正式に茶つばづくりが決る以前から小里川ダムに工事が出る松の木を10トン車20杯近くもらった。近くの製陶工場の広場に置かせてもらう。数ヶ月後この広場が「薪割り」作業の現場となり、この製陶工場の社長が制作委員長となる。

陶町は年代別の横の団結が強い。同窓会的な組織が日常的に機能している。核になるグループがあり

同年をまとめている。上下関係も体育会的要素が強く、先輩の言うことはやはり効く。

「薪割り」当番の日は女子グループはパーベキュー宴会の用意、男子は作業というような雰囲気、終了後、小グループは町内で「居酒屋の青春」となる。連日30人から50人の作業となった。

ある時、同級生の作業を家族が付き添って遠くから眺めていた人がいた。数日後に亡くなられた。

「茶つば」は話題性も大きくテ

2000年8月 世界一の茶つば周辺整備完成式典にて



レビ等報道機関の取材も多かった。本体づくりで市窯業研究所の指導を受けながら、手作業で粘土のひもを付けていく。本日はNHKの取材があるのでそのつもりで来るように連絡をする。本番になりリ

ハサルなしの取材は応える方も難しい。50歳代はほとんど答えになっていない。20才代の青年は驚くほど「地場産業と茶つば」について述べる。取材を終わって女子グループ差し入れの、うまい「おにぎり」を食べる。VTRにとり、

また楽しむ。大手広告会社の試算では「こま犬・茶つば」の宣伝効果は新聞雑誌・テレビ・ラジオを含め年間2億円の広告宣伝費にあたるそうである。

焼成は徹夜作業もある。元氣のよい団結の強い年代が前日午後9時ごろから翌日の午前6時まで当番となる。当然宴会になる。最初

のうちは元氣がいいが2時をすぎると静かになってくる。温度計担当者がメーターを見ながら定期的に「薪くべ」の号令をかける。しみみりと「人生を語り」「将来を語る」徹夜で火を見ているとみんな真面目になる。

5時半頃から次の年代がやってくる。65歳のグループだ。先輩達

からねぎらいの声を掛けてもらい、なんとなく責任を果たしたような満足感にひたる。夜が明けしらすらとしてくると余計に、65歳のグループの人たちとの一体感を感じ幸福感にひたる。

街づくり会長からいつも言われていることに「他人からみて、ちゃったよなこと」でも「オーバーに喜べ」「その喜びをみんなで分かち合おう」ということで、何かできると、完成すると必ずお祭りをしてきた。年代別に役割分担をしまうが、すべての完成祭りは成功してきた。他地域にはない陶町連合区という最大の応援団がある。

街づくりだからといって町内だけできることは限られる。「茶つば」は行政・金融機関・窯業研究所・町外の企業・その他多くの支援で完成した。小里川ダムが完成すると街づくりも次の段階になるであろう。



銘「一心万宝の壺」高さ5.4m(99年制作)

街づくり会長からいつも言われていることに「他人からみて、ちゃったよなこと」でも「オーバーに喜べ」「その喜びをみんなで分かち合おう」ということで、何かできると、完成すると必ずお祭りをしてきた。年代別に役割分担をしまうが、すべての完成祭りは成功してきた。他地域にはない陶町連合区という最大の応援団がある。

街づくりだからといって町内だけできることは限られる。「茶つば」は行政・金融機関・窯業研究所・町外の企業・その他多くの支援で完成した。小里川ダムが完成すると街づくりも次の段階になるであろう。

# 「おらが街のシンボル」に想う

時は流れ、十年の歳月が過ぎ、ギネスブックにも認定された世界一のこま犬。朝夕の通勤通学の守り神として、威風堂々とそびえ立つ「おらが街のシンボル」。



2000年8月 世界一のこま犬（高さ3.3m, 1990年制作）

「町全体をこま犬の里に」を合言葉に、町内各所に飾りつつ在った矢先、昨年の夏のある日、とんでもない出来事がおこった。

不屈きな行為者により、数年にわたり野焼き制作し、八王子神社の参道に並べてきた、まちの大切な小さな財産（こま犬八十対）をすべて壊されてしまった。

こま犬の会々員を始め、多くの人達の怒りと心痛は計り知れないものがあった。

多くの住民が関わっている「こま犬」の現状は、こま犬の会は勿論のこと、各イベントの度に参加して頂いているこま犬太鼓演奏のお囃子保存会の面々達、さらには毎週末、六十歳から七十五歳までの方達による、周辺の清掃作業、老人会の皆さんによる四季折々の花壇の植付けと維持管理があります。

そして行楽シーズン中、こま犬売店の華としてお手伝いいただく婦人部の方々など、多くの区民の皆さまのご協力により運営できています。しかしちよっと年齢層が高いのが気掛かりです。

もっと子ども達が進んで行事に参加し、若人達が何らかのかたちで参加できる体質に、どうしたら

## 大川こま犬の会

副会長 水野 勝人

改革できるのか。

こま犬の野焼き制作においても、若干の人達が参加しているだけでは駄目、もっとアピールし関心を持たせる必要があるのではないのか。そのためには、どんな戦略を展開するのか？

これが今の最大課題であり、今後の最大テーマとなりつつあります。

平成十一年には、こま犬の隣に「世界一の茶つば」が完成しました。この二つを、低迷が続く地場産業に鋭気をもたらず活力源になるシンボルとしてどう活用するのか？そして、街の活性化をどう図るか。

歳月が過ぎ多くの子ども達が永住し、住みよい環境をつくるのはどうするのか、痛切に思う今日この頃です。

将来展望が開かれなまま二十一世紀を迎えたが、今何が必要か！何を求めるべきか！これを探るのが、我々大人の使命であり、役目です。

老若男女を問わず、真剣にこれからのふるさとをどのようにして行くべきか全ての人がたずねたい。地域の住民が一体となって討論し、多くの人の意見や発想を取り入れていくシステムの確立、例え

ば「町民アンケート」の実施等も行っていたい。

中心となる施設の建設や一大イベントの開催などをもっと行政の力を借用して、活力ある街づくり、人づくりを推進しながら「こま犬」を守っていきます。

おらが街のシンボル「こま犬」が燦々と輝き、人々の守り神として、北の果から南の果まで、広くは全世界の隅々にまでも知れ渡る日が待ち遠しいかぎり！です。

### ●今後のまちづくりの動向

陶町街づくり推進協議会事務局

街づくり組織発足の契機となった小里川ダムも、平成15年度完成予定となりました。今後街づくりが進めていく事業は当面次のとおりです。

#### ダム周辺整備事業

モダンパークはダムの試験堰水後、市と協議し事業に着手する予定です。鞍部公園、ストーンパークも、実現にむけて協議していきます。

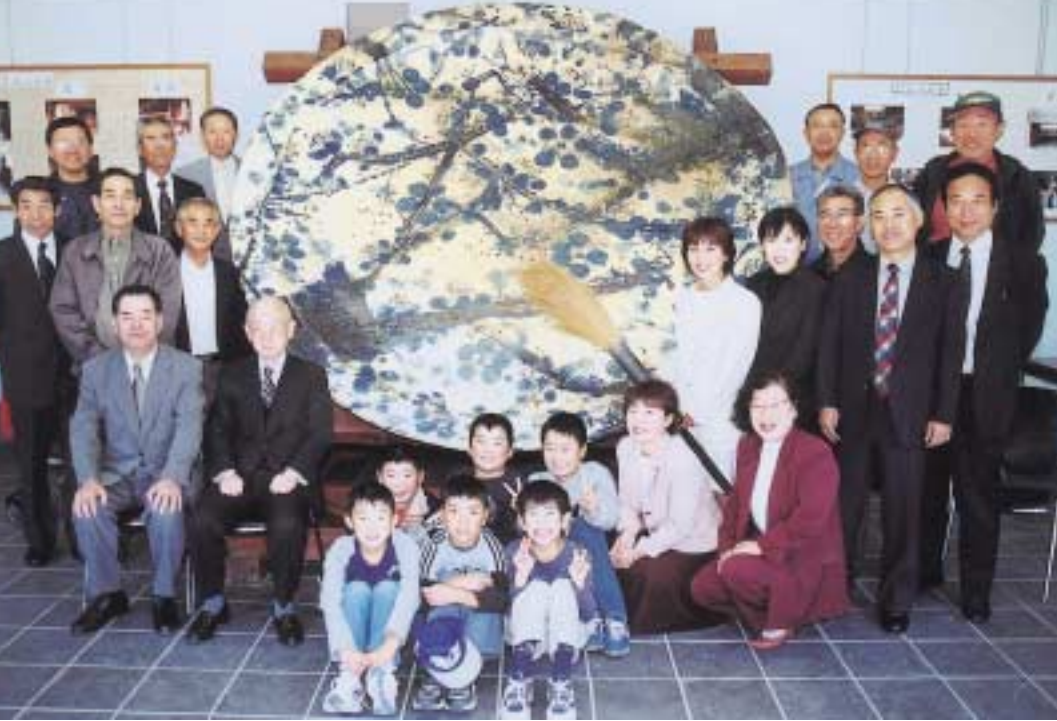
#### 新しいコミュニティセンター

改築の場所をワークプラザに決定、まちの活性化の拠点として、その内容を検討し、推進を図ります。

#### イベント

街づくりに対する関心や意欲の高揚と、陶町出身者や町を訪れる人達にも魅力ある、定例的なイベントを開催して行きます。

2000年11月  
「世界一の大皿」  
(直径 2.8m)  
(1996年制作)



## 屏風山「偉大なる里山」を活かしたまちづくり 稲津まるごと公園化構想

明るく住みよい未来を夢見て、本協議会が発足して3年目。この間一貫して「町民が主役」のまちづくりを訴え、町民がこぞって「動き、集まり、語り合つ」をモットーとした住民参加の環境づくりを心掛けて来ました。

町内全世帯にアンケートをした結果、最も関心度・期待度の高かったのは、急速に進む高齢化社会に備える「福祉の拠点づくり」、緑豊かな屏風山・森と林が調和した里山、歴史と文化・史跡をネットワークした「公園づくり」でした。

これを受け、ハートフルプラン『稲津まるごと公園化構想』の実現に向け、熱き活動が始まりました。

### わがまちの魅力

荷かきいなり稲荷神社一帯の公園化約二百年前、凶作にあえぐ村を救おうと、有志が京都の伏見稲荷本社に懇願、分社されたもの。境内には、ふるさと稲津いきいき会制作の『世界一の大皿』(昨年5月ギネスに登録)を展示する瑞祥館隣にはひなびた温泉宿「稲荷温泉」もあります。

屏風山「偉大なる里山」都会の人達が、緑豊かな自然に触れ、ストレスを解消し心身を癒しノスタルジアな思いにふける場を提供し、都市と地域住民の交流を図ります。

### 明日の稲津を築くまちづくり推進協議会 会長 成瀬 允道

今年のさわやかウォーキングは、町民こぞって、そっと、暖かく、さりげない歓迎をするよう実行委員会が中心になって頑張っています。現在屏風山では、春と秋に登山を実施、山腹にある広さ6haの湿地については、県の学術調査により草本58種、木本44種を確認、「自然環境文化遺産」として湿地全体の保全、保護活用を関係機関に要望しています。

なお登山道の中ほどにあるツガの大木(樹齢250年)では、「ツリークライミング」も試みられ、また頂上からは、名古屋駅のツインビルも望めます。現在、このような自然豊かな屏風山を活用するため、「稲津町里山活用整備事業計画」を策定しています。

カツコーの森  
小里消費生活協同組合が中心となり整備を進めています。子どもから大人まで、野外体験学習の場を提供し、近くの小里川ダムを含めて、町外との交流も活発化しています。炭焼体験、間伐・枝打ちの実習、植樹、木工・ゲーム等の森林体験などができます。

小里城址(県指定文化財)  
戦国末、武田勢の美濃侵略を防ぐため、織田勢により整備拡張さ

れた山城。江戸初期まで、美濃源氏土岐一族の小里氏がここを治めていました。現在も各所に残る野面石積みや御殿跡を中心として、平成13年度からは埋蔵文化財調査も行われます。なお、地元文化財を守る会など町民による清掃作業も定期的に行われ、今後史跡を活かしたまちづくりに取り組んでいきます。

### 小里川ダム

平成15年度の完成を目指して工事が進められています。地域に開かれたダムとして旧小里川発電所の有効利用、両岸を結ぶ散策道の整備、また周辺のカツコーの森、屏風山登山道などの有機的な結びつけが模索されています。

### さわやかウォーキング

JR東海さわやかウォーキング今年5月3日に開催(JR瑞浪駅→稲津町、約15kmの行程)  
屏風山自然公園を歩こう  
稲津町独自の散策コースも作ります。

### 稲津町宅老所

町民の幅広い参加とボランティア組織の活力を活かし、取りあえず独居の高齢者(要支援前)を中心とした宅老所を開設します。

# 歴史と文化のまちづくり

## 美濃源氏フォーラム

運営幹事 井澤 康樹

### 「美濃源氏に注目」

1991年、JC(青年会議所)が提唱し進めていた『みずなみふるさとまつり』と、商店街主導の『瑞浪七夕祭り』を合併し、より大きな祭りしようとする関係者の機運が盛り上がっていました。当時、商店街連合会長からマスコミの注目するようなイベント要請がJCにあり、土岐氏一族の武



1999年8月 土岐氏研究講座

者行列や美濃源氏大太鼓の時代背景を勉強しながら、埋もれている歴史を検証する事を提案し、第1回の「美濃源氏フォーラム」が開催されました。

翌年、このフォーラム開催が契機となり正式に合併『美濃源氏七夕まつり』に生まれ変わりましたが、昨今市民祭りとして定着した原点は【美濃源氏という独自の歴史と文化の有為性】に他ならないでしょう。

設立テーマは、

仙台・平塚と並ぶ三大七夕祭り  
日本中世史解明への土岐氏研究  
歴史を今に活かしたまちづくり

以上の3点でした。

1993年からは、年6回の研究講座や史跡探訪ツアー、史跡掃除などを開催し、一般的啓発と共に専門的研究者へも、また94年からは全国の土岐氏関係者へ情報発信を続けています。

特に、首都機能移転候補地として選定されましたが実現はともかく、栃木県の売り言葉である「那須の御用邸」に対し「東濃は土岐源氏の古里」も大変効果的でした。

### 「甦れ婆娑羅の精神」

1995年、梶原岐阜県知事を招請し作家の童門冬二氏と一緒に

『よみがえれバサラのこころ』をテーマとして対談を依頼、土岐氏一族のバサラ精神の必要性を提唱致しました。

それは、戦国大名古田織部の精神に共通するものであり、現代に活かす手法のひとつとして岐阜県独自の健康法として婆娑羅(バサラ)健康法が現在検討されています。

そんな中何よりなのは、瑞浪市内外においても踊りで表現することが始められ『バサラ瑞浪』として確立したことは発祥地として相応しいことだと思えます。

社会全体が閉塞感に覆われた現在、それを変えることが出来る心様がバサラであります。

それは常識にとらわれず、前例主義に陥らず、自分の個性を尊重し、変革の心を持つこと、その必要性が認識され、こういったうねりが全国各地で始まっています。

### 「歴史と文化」

1999年には細川護熙元首相の講演が実現し、国民文化祭の最終日に、瑞浪市総合文化センターにおいて、文化の日に、『文化』について語って頂きました。

歴史とは、過去から未来へ営々と流れ続けているものであり、我々が今を如何に生きよつとするのか、

そしてその答えを求め続けようとする姿勢が文化に他ならないと。

21世紀を迎えた今年からは、歴史と文化を活かしたまちづくり研究会を継続開催し、我々が望むようにまちを創ることが出来る、そういった勉強会に着手します。

特に、東濃地域における先進成功事例からも学ぶことはとても多く、第3回歴史と文化を活かしたまちづくりシンポジウム」の開催時にみなさんと共に考えましよう。そして、瑞浪市内8地区内にまちづくり推進協議会が整備を終えた時には、調整機関として「まちづくり推進連絡会議」を設ける必要がありますので、是非その一翼を担いたいと思えます。

### 「まともにかえて」

また、今後美濃源氏フォーラムは、NPO(特定非営利団体)を取得することにより、日本史に欠かせぬ土岐一族という地域固有の歴史を学ぶことで視野を県内は元より全国へ広げ、歴史に学ぶ素直な心を醸成し、学んだ者が地域社会の歴史ボランティアとして活用され、住民にとっては愛着のもてるまちづくりと、訪れる方にとっては心を癒すことのできるまちづくりを、市民主導の活動で進めて参ります。

1999年3月  
「花の森」植樹祭

## 歴史と自然を活かしたまちづくり

## 大湫町コミュニティ推進協議会

会長 安藤秋義

国道19号をはなれ、釜戸から北へ坂道を登ると、海拔530mの山間に、静にたたずむのが大湫の集落です。街並は、かつて中山道大湫宿として賑わいをみせたところ、格子

戸の古い家並みや、脇本陣、高札場、道中安全を祈った観音様や地藏尊など、今でも当時の面影を色濃く残しています。

周囲の里山には「ひとつばた」や「しでこぶし」の群落など、約二千種もの植物が自生し、峰からは瑞浪や恵那の街も望むことができます。しかし近年、町の少子・高齢化率は市内で最も高く、若者の多くは市外で働き、町の将来に不安はかくしきれません。

町では、先人達が築きあげて来た自然との調和のとれた関わりや宿場町として交流により育んで来た生活文化の歴史に学び、町民相互の英知とパワーを生かし、より確かな信頼と連帯で「歴史と自然を生かした街づくり」をしようとして、昭和六十年に「大湫町コミュニティ推進協議会」を発足させました。

「とにかく皆が笑って暮らせる町」「訪れる人たちとも喜びあえる町」にしようとして、長寿会、婦人会、PTA、子供会、森林組合、営農組合など、町内のあらゆる団体の参加を得て、「まちづくり部会」

と「生涯学習部会」の二部会を組織し、各部会には七つの専門委員会を設け活動を続けています。

例えば広報委員会なら「広報おおくて」の編集スタッフとして、各区から計11人が選ばれており、中には他の団体・地区役員を兼ねる方もあり、一人でも何役もこなさなければならぬ場合もあります。なお、町の各イベントには男性も女性も子どもも年寄りも全員参加、喜びも苦勞も皆で分かち合っています。

その原動力は、ふるさと大湫を誇りに思い、こよなく愛する町民一人ひとりの気持ち、「ただ何でもない山間の農村風景や宿場街の風景だが、できるだけ自然のままに残していきたい」とのひたむきな思いが、地域活動へと突き進んでいます。

主な活動内容は、宿場町としての環境保全、男性・女性・子どもそして遅れてスタートした中高生、計四部の中山道大湫太鼓の保存活動、月刊『広報おおくて』の発行、「花の森」「大杉の森」づくり、その他、球技大会やマラソン大会、夏まつり、秋まつり、文化祭にウォークラリーなど、イベントも数多い。

これからも、旅籠屋、宿場郷土

館といった宿場施設の修復、修繕、大湫まるごと自然博物館づくりなど多岐にわたる活動を予定しています。大湫は昔も今も変わることのない百三十戸程の小さな町ですが、町の自立、まちづくりには誰もが熱い思いを持って活動を続けています。しかし、少子・高齢化によるパワー不足はひしひしと感じています。

幸いここには、名古屋市の教育キャンプ場があり、ウォーキングで中山道を訪れる人も多い。また町の施設のいろいろ館・ふれあいセンターを利用し、自然学習として定期的に「山里映画会」を開催、都市の人達との交流も続けています。

このように外来者向けの自然体験学習をプログラム化し、今以上に交流人口を増やし、自然との共存の中で森を育て、山里の資源を生かした活動を伸ばしていきたい。

現在はグリーンロード中山道、炭焼グループ、営農組合、森林組合などの生産者団体もこのコミュニティの一員であり、作業体験の場はいくらでもあります。

中山道の史跡、宿場、花の森、キャンプ場、大滝、ふれあいセンターなど、町全体を結び、大湫歴史環境生活体験塾で、自然に学び、人々との交流を通して大湫のパワーアップを図りたいと考えています。



## 自然と共に生きる

## 日吉町まちづくり推進協議会

会長 小栗 精造

瑞浪市の北部に位置する日吉町は、市の面積の $\frac{1}{3}$ （54km<sup>2</sup>）を有する標高200～500m程の中山間地域で、丘の間に農地が点在する、人口わずか三千五百人程の静かな農村です。町の北には木曾川が、稜線には中山道四十八番目の宿場細久手が今もその名残をとどめ、遙か御嶽の霊峰、恵那山を初めとするア



2000年10月 酒波神社例大祭

ルプスの峰々も眺望することができます。

この山里に、昨年7月2日、「このまちをいきいきとした日吉にしたい」という町民の声にこたえて、「日吉町まちづくり推進協議会」が発足しました。

まちづくり組織としては、一番遅れての立ち上がりです。今年度はまだ調査・研究の段階ですので、その姿は描いておりませんが、来年度はいよいよ事業段階に入り、少しでも町のために役立てたいと思っています。

今回のまちづくりの設立に当たり、将来に翔く小中学校の児童・生徒達に「ふるさと日吉の夢、思い、希望、願い」を書いてもらいました。頂いた貴重な意見は、今後のまちづくりに活用いたします。登下校時には、「おはようございます」「さようなら」と声をかけて行く子ども達の姿は、本当にうれしく、心安らぐ思いがいたします。これこそ「まちづくり」の中の「こころづくり」の一つであるうかと思えます。

さて、山里にいきいきとした活気をどのようにして呼び込むかという点ですが、これは日吉が古来から持っている特徴を最大限に

活かすことであり、「いつの時代にも「まちづくり」の発想はわが町の歴史の中にあり」ではなからうかと思われます。

わが里は、農村であり、この生き物達は、長年にわたる農耕を中心とした人間の自然への働きかけによってできた独自の生態系の中にあり、我々はこれらの生き物と共生・共存をする考えを持たねばなりません。

また農村には、神社・仏閣、道祖神・磨崖佛・田の神・地藏様、道標（道しるべ）・歌碑、祭り・地歌舞伎・文楽等々、我々の先人が智慧と自然崇拜によって作り上げて来た有形無形の大事な歴史的文化が数多くあります。まちづくりとして、これらを再認識し、その存在意義を学び、如何にして伝承するかを研究討議しています。

最近自然という言葉をよく耳にします。人間も自然の中で育まれないと、生きて行かれないのかもしれないかもしれません。四季ある日本の風景はまさに水田稲作、山林の緑は生きていく文化です。誰もほっと一息思わず呼吸したくなるような所、緑の中で時間が持てるような所、美しい自然の中にあつて生きて行きたいと思っています。

こういう自然環境も残念ながら汚染されていく時代となりました。今まちづくりはこのことも真剣に討議しています。

日吉は今、若い人達は町外に職を求めています。「住」まで持ち出さないよう、安心して住めるような住宅環境をつくらねばと思っています。

美しい自然や田園風景が保たれ、心が安らぐところ

老後の生活に適するところ  
豊かな人情や伝統を生かした社会が残されているところ

このような条件が整えば、都市の人々の目も農村に向いてくると思えます。これからは、都市と農村住民との交流を高め、自然を損なうことなく、豊かな農村を作り上げて行くべきであると思えます。

日吉町は、幸いにして全域に亘り農業生産基盤整備が完了、近代的な営農ができるようになっていきます。この優良農地を守り続けることが、次世代に伝える責務と痛感するものです。

我々はこれからは五風十雨に恵まれて、風の匂い・土の匂いを感じながら、生命ある作物を育てる大切さを知り、そして収穫の喜びを味わいながら、語らいの場も在る農村生活を創り出したいと思っております。

# 小・中学校の9年間を振り返る

21世紀最初の卒業式が、3月9日、市内の公立中学校6校で行われ、四百七十三人（瑞浪百七十六人、瑞陵九十一人、陶五十一人、稲津五十四人、日吉四十五人、釜戸五十六人）が卒業を迎えました。

このうち、小・中学校の9年間を無欠席で通った27人のみなさんに、「21世紀への旅立ち」についてたずねてみました。（順不同）

## 日吉中学校



安藤 聡史さん

この9年間、一日も休まずがんばったように、これからも立ち止まることなく、前進したいと思います。



村瀬 拓己さん

「自分の未来は、自分で切り拓きたい」今まで支えてくださったみんなへの恩返しのもりでがんばります。

## 釜戸中学校



北山 大之さん

21世紀最初の記念すべき年に、このようなことが達成できて、とてもうれしく思います。



金原 千佳さん

私は21世紀の今、何か新しいことに挑戦したいと思います。21世紀の卒業生として新しい気持ちで行きたい。



西戸 一孝さん

21世紀は、核兵器がなくなり、戦争などがなくなり、平和な世界になることを願います。



藤田 奈美さん

21世紀最初の卒業生、21世紀最初の入学生としての誇りを持ってこれからの生活を送っていきたいです。

## 瑞浪中学校



有賀 裕祐さん

これから旅立っていく世界は一つ一つの行動に責任を持たなければならぬので、自覚していききたいです。



土屋 尚子さん

21世紀は私達がつくっていく時代です。9年間毎日学び、つけた力を生かして明るい未来をつくりたいです！



藤原 聖典さん

これから悩んだり、苦しんだりすることが多くなるけど、後ろを振り返らずに、自分を高めていきたいです。



水野 香菜さん

世界中の笑顔が見たい。貧しい国の人も豊かな国の人も助け合い、笑顔があふれる世界を作りたい。



森 千晶さん

差別や偏見のない、みんなが手を取り合って生きていける世の中、そんな21世紀であってほしいです。



渡邊 大祐さん

僕は動物が好きです。最近動物を大切にしない人が増えてます。動物を大切に世の中にしてほしいです。

瑞陵中学校



市之瀬毅洋さん

まだ、どんな道に行くか分かりませんが、その道のプロになりたいと思っています。



岩島 聡子さん

この9年間いろいろありました。これからもっとたくさん経験していくけど、最後までやりとげたいです。



遠藤左央理さん

元気・明るさ・笑顔をこれからも…。自分の夢に向かってがんばりたいです！



成瀬 浩睦さん

僕は、この21世紀の未来に向けて、自分の夢をかなえる時だと思うので、将来、がんばっていききたいです。



橋本 龍さん

21世紀は、自分の持っている夢をかなえられる世紀にしたいです。



松原 由果さん

私は21世紀も、自分の夢をかなえるために、毎日コツコツと努力することを忘れずにがんばっていきます。

陶中学校



伊藤 俊彦さん

僕の考える21世紀は、犯罪が少しでもなくなるような世紀です。みんなが平和にすごせたらいいと思う。



加藤亜希恵さん

私は、9年間休まずに学校へ通えました。だから、これから社会へ出て、健康でありたいと思います。



加藤 誠二さん

21世紀は、みんなが安全で健康的な生活ができ、世界の人々が、一つとなれば素晴らしいと思います。



加藤 達也さん

21世紀は、科学技術などを進める一方で、現在抱える環境問題などが解決されると良いと思います。



竹山 徳明さん

僕は、将来どんな職業に決まっていませんが、どんな職業についても、がんばりたいと思っています。



西尾 奈々さん

私は、これからの生活で、この9年間のよう健康に過ごし、自分の真実に向かいがんばりたいと思います。

稲津中学校



横山 明宏さん

高校へ行っても健康に気をつけながら、勉強や部活などの運動を一生懸命がんばっていききたいです。



和田 毅也さん

僕は、沢山の経験が正しい判断へとつながると思うので、経験を与えるため、物事には挑戦していきたいです。



和田 尚己さん

高校へ行ったら、体に気をつけて、勉強、部活をがんばりたい。そして、仲間を大切にしていきたい。

# まちの元気を応援します！

## バサラ瑞浪普及振興会

事務局 有賀 和秋

### バサラは心のまちづくり

「バサラ瑞浪誕生」  
鳴子両手に、踊ってまちを元気にするバサラ瑞浪、その原点は4年前の札幌YOSAKOIソーラン祭り。力いっぱい踊る若者の姿に鳥肌が立つほど感動し、障害や高齢をものともしない踊り子の笑顔に



2001年3月 バサラ練習風景

涙が止まらなかつた男たちの心に、熱い火が点きました。その感動が、たった2カ月で七夕まつりを踊って楽しむ参加型のまつりに変え、いま市内5会場で約三百名の踊り子が年間を通して練習に参加、各地で「みずなみ」の文字を染め抜いた法被で活躍するよさこい鳴子踊り・バサラ瑞浪チームが誕生しました。

#### 「広がる踊りの輪」

踊るエネルギーは人の心を変えます。踊り子自身の心を、そして踊りを見る観客の心を。威勢のいい掛け声に励まされ、軽快なリズムや力強いビートに乗って踊る理屈抜きの楽しさ。呼吸をそろえ、気合いを入れて鳴子を打ち鳴らす仲間との連帯感。そのエネルギーの燃焼が、踊りを見る人にも「元気が出る踊りですね」「勇気をもらいました」と感動を呼び、老若男女を問わず元気な仲間の輪が広がっています。また、「より多くの人に踊る楽しさを知ってもらいたい」という想いが、自然に学校での子ども達の踊り指導やジュニアチームの育成、福祉施設や養護学校の訪問など

の活動を生み出しています。

現在、市内には約20の踊り子グループが誕生、まつりやイベントで活躍しています。また、周辺の市町村にも続々と姉妹チームが生まれています。お互いの祭りやイベントに各チームが参加することで広域の地域間交流も始まり、昨年の七夕や年末のバサラカーニバルには市内外から30チーム千名近い踊り子が集い、県内一の盛り上がりを見ることができました。

#### 「まちの元気を応援」

人が動けば物も動きまわります。バサラ瑞浪は踊りの口上にも「日本列島まん真ん中、岐阜県瑞浪市は日本一の焼物の町！」と入れて各地で地場産業・美濃焼をしつかりPR。3年連続で遠征している札幌の踊り会場の一つ、麻生商店街では美濃焼の即売会も実施。一方、瑞浪の商店街のイベントには毎年北海道の踊り子仲間が新鮮な北の幸を提供するなど、経済面での交流も年々活発になってきました。

こうした活動もヒントになり、今年1月には札幌YOSAKOIソーラン祭りと同知よさこい祭りが協力して全国のよさこい方式の祭りの情報交換と、各地の踊り子が提供する特産品の販売をインターネット

ト上で支援するホームページ「YOSAとも」も立ち上がり、バサラ瑞浪も札幌と高知を結ぶパートナーとして参画、イメージキャラクターとして木股副会長が登場するなど、全国的な交流にも一役買っています。

#### 「瑞浪から全国へ」

お金も肩書きもないおかみさん達の、心意気でまちを元気にするこうした活動を意気に感じて、「全国のおかみちゃんに踊って元気をもらおう！そのエネルギーでまちを元気にしよう！」というテーマ曲「おかみさんソーラン・バサラ」も生まれ、CDやビデオで全国に普及。今年さらには、盆踊りのように誰でも飛び入りで気軽に楽しめる踊り「ワオドリ・ソーラン」の創作にも札幌と共同で着手しました。

#### 「バサラの心意気」

バサラとは、戦国の世に名を馳せた郷土の武将美濃源氏土岐一族の「何者も恐れず自由奔放に振舞う気風」を指し、その語源は金剛石すなわちダイヤモンド。そしてバサラの心意気は、まちの元氣人の心意気です。踊りでバサラの心意気に目覚め、夢に挑戦するバサラな市民が増えたら、このまちはもっと元氣になります。さあ、あなたも一緒に踊りませんか？

# 瑞浪市の事業所・工業の状況

事業所・企業統計調査は5年毎に行なわれ、次は今年の10月頃に実施されます。5年毎の中間年にあたる平成11年には、名簿整備を目的として、民営事業所を対象に簡易調査が実施されました。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象に毎年実施されています。平成11年に実施された調査の結果がまとまりましたので抜粋してお知らせします。

事業所数・従業者数を産業大分類別に平成8年と比べると、製造業において最も大きい減少

がみられます。製造業に属する事業所を産業中分類別に平成10年と比べると、構成比には大きな変動はなく、窯業・土石製品製造業が全体の6割強を占めています。

これらの調査結果は各種行政施策の基礎資料として利用されます。事業所のみなさまにはお忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございます。今後とも統計調査にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

問い合わせ 情報推進課 ☎内線337

## 事業所・企業統計調査結果

### 産業大分類別事業所数・従業者数(民営事業所のみ)

11年は7月1日現在、8年は10月1日現在

産業大分類による区分	平成11年			平成8年				
	事業所数	構成比	前年比	従業者数(人)	前年比	事業所数	構成比	従業者数(人)
合計	2,357	100.0	-2.4	16,536	-7.9	2,415	100.0	17,960
A-C 農林水産業	18	0.8	12.5	X	X	16	0.7	X
D 鉱業	1	0.0	0.0	X	X	1	0.0	X
E 建設業	250	10.6	-4.6	1,141	-9.9	262	10.8	1,266
F 製造業	488	20.7	-7.6	5,126	-16.2	528	21.9	6,119
G 電気・ガス・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-
H 運輸・通信業	47	2.0	6.8	457	-11.6	44	1.8	517
I 卸売・小売・飲食店	935	39.7	-2.4	4,844	-0.4	958	39.7	4,865
J 金融・保険業	24	1.0	4.3	327	-0.3	23	1.0	328
K 不動産業	50	2.1	22.0	97	10.2	41	1.7	88
L サービス業	544	23.1	0.4	4,329	-6.1	542	22.4	4,609



## 工業統計調査結果

### 産業中分類別事業所数・従業者数・製造品出荷額等

各年12月31日現在

産業中分類による区分 (瑞浪市関係分のみ)	平成11年			平成10年							
	事業所数	構成比	前年比	従業者数(人)	前年比	製造品出荷額等(万円)	前年比	事業所数	構成比	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
合計	454	100.0	-4.0	4,866	-4.3	7,389,297	-15.0	473	100.0	5,083	8,689,534
12 食料品	12	2.6	-14.3	78	-2.5	123,470	-2.5	14	3.0	80	126,644
13 飲料・飼料・たばこ	4	0.9	-20.0	30	-25.0	35,660	-18.3	5	1.1	40	43,665
14 繊維工業製品	1	0.2	0.0	X	X	X	X	1	0.2	X	X
15 衣服・その他の繊維製品	4	0.9	0.0	22	0.0	12,282	-15.4	4	0.8	22	14,516
16 木材・木製品	3	0.7	0.0	17	13.3	27,271	-17.4	3	0.6	15	33,031
17 家具・装備品	8	1.8	0.0	131	0.8	228,698	-5.2	8	1.7	130	241,130
18 パルプ・紙・紙加工品	18	4.0	5.9	117	-1.7	119,199	-2.9	17	3.6	119	122,812
19 出版・印刷・同関連品	17	3.8	-5.6	216	-3.1	366,898	-2.6	18	3.8	223	376,829
20 化学工業製品	5	1.1	66.7	46	15.0	113,133	-7.6	3	0.6	40	122,453
22 プラスチック製品	5	1.1	0.0	39	-4.9	69,639	-7.0	5	1.1	41	74,887
23 ゴム製品	2	0.4	0.0	X	X	X	X	2	0.4	X	X
24 なめし革・毛皮製品	1	0.2	0.0	X	X	X	X	1	0.2	X	X
25 窯業・土石製品	292	64.3	-8.8	2,723	-5.5	3,127,395	-5.8	320	67.7	2,881	3,319,345
26 鉄鋼	1	0.2	0.0	X	X	X	X	1	0.2	X	X
28 金属製品	11	2.4	0.0	44	-2.2	62,280	-5.7	11	2.3	45	66,057
29 一般機械器具	36	7.9	5.9	359	38.6	411,187	36.9	34	7.2	259	300,374
30 電気機械器具	5	1.1	-16.7	782	-10.7	2,255,316	-25.7	6	1.3	876	3,033,818
31 輸送用機械器具	8	1.8	-11.1	144	-38.2	351,242	-52.8	9	1.9	233	743,569
34 その他の製品	21	4.6	90.9	73	135.5	43,766	205.1	11	2.3	31	14,345

\* 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、合計の数字と内訳の数字が一致しない場合があります。また、国及び県が公表する数字と相違する場合があります。なお、本表中の「0」は数値が単位未満のもの、「-」は該当なし、「X」は統計法により秘匿扱いのもの

# 議会だより

## 議長に小栗正臣氏

## 副議長に栗木基氏

平成13年第一回市議会定例会が3月2日に開会、会期を3月23日までの22日間と決めた後、市議会議長をはじめとする議会の役員選挙が行われました。

選挙の結果、議長に小栗正臣氏（71歳、無所属）、副議長に栗木基氏（67歳、無所属）が選ばれました。



### 議長 小栗正臣氏

昭和62年初当選、現在4期目。総務財政委員会、民生文教委員会、議会運営委員会などの委員長を歴任、平成3年に副議長、7年に監査委員、10年に議長を務める。

このたび、皆様方の温かいご推挙を頂き議長に就任させて頂きました。新世紀は地方分権新時代、IT革命の時代であります。今後一層地方議会の果す役割と責任は重大であると考えます。本来の議会機能に加え、企画政策能力、条例立案能力の向上等、議員の皆さんと共に自己改革、自己研鑽に努め、多様化する市民ニーズに答えられるよう努力し、市政発展と市民福祉の向上をめざし、職責を全うする決意であります。皆様方のご指導ご協力をお願い致します。

監査委員・各委員会の構成も決まる

監査委員、議会運営委員会、常任委員会、また議員発議により決定された3つの特別委員会の構成は、次のとおり決まりました。

(敬称略)

### 監査委員

(決算等の審査)

渡辺 千介

### 議会 運営委員会

委員長	市川 晴宣
副委員長	山田 実三
委員	宮下 俊夫
"	余語 範二
"	泉 碩也
"	勝股 敬
"	中島 洋三
"	阿部 正吾



このたび、多くの方々のご推挙を頂き副議長に就任させて頂きました。

議長を補佐して、議会運営の円滑化を、また議会機能の活性化に努力し、市政のさらなる前進を目指して頑張りたいと思います。

二十一世紀に向けて、高齢化の進む中、経験豊かな議長と共に、暮らし良いゆたかな街づくりに『まめでクリクリ』コンビで『栗の味覚』の中から最高の味が、出せたら良いかと考えています。

皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 副議長 栗木基氏

平成7年初当選、現在2期目。平成11年に経済建設委員会、12年に市民福祉委員会の委員長を歴任。



### 常任委員会

#### 総務文教委員会

所管

(総務部・企画部・収入役室・消防本部・選挙管理委員会・監査委員・教育委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項)

委員長	酒井 宣行
副委員長	臼井 重喜
委員	中島 洋三
"	溝口 昭八郎
"	三浦 啓子
"	阿部 正吾
"	足立 亘
"	小栗 正臣

#### 市民福祉委員会

所管

(市民福祉部・福祉事務所)

委員長	宮下 俊夫
副委員長	熊沢 清和
委員	勝股 敬
"	成重 隆志
"	栗木 基
"	今井 秋男
"	日比野 昭

## 経済建設委員会

所管

(経済環境部・農業委員会  
・建設水道部)

委員長 泉 碩也  
副委員長 柴田 増三  
委員 渡辺 千介  
山田 実三  
長井 君江  
余語 範二  
市川 晴宣

## 特別委員会

首都機能移転・

リニア・

研究学園都市

## 特別委員会

委員長 中島 洋三  
副委員長 成重 隆志  
委員 渡辺 千介  
宮下 俊夫  
熊沢 清和  
山田 実三  
市川 晴宣  
泉 碩也

## 瑞恵バイパス・ ダム整備特別委員会

委員長 今井 秋男  
副委員長 三浦 啓子  
委員 長井 君江

溝口 昭八郎  
栗木 基  
酒井 宣行  
日比野 昭

## 瑞浪テクノ パーク建設

## 特別委員会

委員長 足立 亘  
副委員長 勝股 敬

委員 柴田 増三  
阿部 正吾  
小栗 正臣  
白井 重喜  
余語 範二

東濃西部広域行政  
事務組合議会議員

小栗 正臣  
阿部 正吾  
溝口 昭八郎

東濃農業共済

事務組合議会議員  
小栗 正臣  
日比野 昭

## 瑞浪市民体育大会

第46回

# 冬季大会 スキー競技会

日時 3月4日

場所 伊那スキーリゾート

大回転競技 参加約100人

【総合順位】 土岐 釜戸・大湫 日吉 瑞浪  
明世 稲津

入賞者 (敬称略)

女子の部(高校生以上) 古橋和子(釜・大)

水野洋子(土岐) 館林美和(土岐)

小中学生の部(男女混合) 小倉大悟(土岐)

水野佳穂(土岐) 大竹沙織(日吉)

男子4部(50歳以上) 加納啓文(明世)

阿部 力(瑞浪) 伊藤俊一(土岐)

男子3部(40歳以上50歳未満) 長谷川伸弘(日吉)

安藤正剛(日吉) 成瀬 裕(明世)

男子2部(30歳以上40歳未満) 藤田雅行(釜・大)

小木曾真司(土岐) 鈴木一夫(瑞浪)

男子1部(高校生以上30歳未満) 中島 守(稲津)

藤井 憲(釜・大) 増田 薫(土岐)

第37回

# 陶一周駅伝



2月25日、第37回陶一周駅伝競争大会が、陶小学校を発着点とする2コース(18.6kmと12.2km)で開催されました。地元を初め多治見市、中津川市、各務原市など、総勢82チームがその健脚を競いました。

沿道の皆さんからは暖かい声援が、走り終えた選手達には、街づくり推進協議会や小中母親委員会から温かい豚汁とぜんざいが振る舞われました。

なお上位入賞者は次のとおりです。

一般男子の部(1部) 明智商A 明智商B

一般男子の部(2部) 瑞浪市消防本部

瑞浪陸友B きてや陸上部?(陶)

一般女子の部

ラン・ランレディースB(陶) ラン・ランレディースA

中学男子の部 泉中学校(土岐市) 稲羽中駅伝

部(各務原市) 瑞陵中学校

中学女子の部 泉中学校 陶中バスケットA

瑞浪中学校

小学校・スポ少男子の部 下石野球A(土岐市)

妻木野球スポーツ少年団A(土岐市) 明智町

野球スポーツ少年団A

小学校・スポ少女子の部 中津川ジュニア陸上

クラブ 精華ミニバスケットクラブ(多治見市)

陶陸上スポーツ少年団A

# 土地利用の公聴会でたくさんのご意見をいただきました

将来の土地利用や主要道路網の計画などを策定するため、昨年从今年にかけて、市内各地区で公聴会を開催しました（参加169人）。いただきました意見については、今後、各種計画の策定に生かし、みなさんと一緒に事業の検討もしてまいります。

なお、今回の主なご提言ご意見は次のとおりです。

担当 企画政策課 ☎内線333

## 農用地



- ・農用地を保全する施策の検討を。  
(日吉町、釜戸町、大湫町、稲津町)
- ・農地保全のため、専業農家や営農組合への支援対策、生産性の向上と農業生産物の流通確保を図るなど、新たな農業政策の検討を。  
(日吉町、大湫町)
- ・農地保全の観点から、農業用施設の改修については、受益者や地権者と協議をして進めて欲しい。

- ・(日吉町、釜戸町、大湫町)
- ・中心市街地に近い農用地、地域拠点に近い農用地は、住宅地等としての機能を向上させるため、農業振興地域指定等の規制区域の見直しを。  
(釜戸町、土岐町)

## 森林



- ・森林保全に関する施策の検討を。  
(日吉町、釜戸町、大湫町、稲津町、土岐町、陶町)
- ・河川の氾濫等は、森林の保水機能の低下も一因である。人工林と自然のままの森林の保全について、保全区域の指定等の検討を。  
(日吉町、釜戸町、大湫町、稲津町、土岐町、陶町)
- ・ゴルフ場周辺の開発可能な山林に工業団地の誘致を。  
(釜戸町、土岐町、陶町)

## 河川・水路など



- ・自然や水環境の保全を促進する施策の実施を。(日吉町、釜戸町、稲津町、土岐町、陶町)

## 道路



- ・「水辺の楽校」のように、各地に親水公園、河川沿いに散策道等の整備を。  
(日吉町、釜戸町、稲津町、土岐町、陶町)
- ・小里川ダムは、平成14年の秋に試験湛水を計画している。ダムや史跡を生かした新たな観光地開発の実施を。(稲津町、陶町)
- ・土地を有効に利用するために、住民が必要とする生活道路の整備を。  
(日吉町、釜戸町、大湫町、稲津町、土岐町、陶町)
- ・市の地形上、東西道路の整備は進んでいるが、南北を結ぶ道路整備は遅れている。19号と交差する道路の整備を。(日吉町、釜戸町、大湫町、土岐町、陶町)
- ・国道や県道の整備について、関係機関への強い働きかけを。  
(日吉町、釜戸町、大湫町)
- ・道路は、自動車のための道路ではない。歩行者のことを考慮した道路づくりを。  
(日吉町、釜戸町、土岐町、陶町)

## 宅地



- ・中心市街地以外の高齢化が進む周辺地域でも、道路のバリアフリー対策を。  
(釜戸町、土岐町、陶町)
- ・中心市街地以外の地域では、生活基盤の整備が遅れており、生活道路、上下水道等の早急な整備を。  
(日吉町、釜戸町、大湫町、土岐町、陶町)
- ・若者の働く場所を確保するため、工業団地及び住宅団地の誘致を。  
(日吉町、釜戸町、土岐町、陶町)
- ・土地の有効利用を促進するため、農業振興地域や保安林の解除等の規制は、長期的な観点で地域住民と話し合い、検討して欲しい。
- ・(日吉町、釜戸町、土岐町、陶町)
- ・住環境を向上させるため、緑のある住宅地の整備、一層進む高齢化と障害者に優しいまちづくりを。  
(釜戸町、土岐町)
- ・コミュニティバス等の公共交通機関を確保して欲しい。
- ・(日吉町、釜戸町、大湫町、稲津町、土岐町、陶町)
- ・都市計画事業に関する情報等をもつと周辺地域の住民へも提供して欲しい。(釜戸町、陶町)



# 自主運行バスを大幅に改正

## 4月1日から

市では新年度が始まる4月1日から、コミュニティバスを中心としてその運用内容を大幅に見直し、新たな形で市民の皆様への足として運行を開始します。また、これと同時に4路線の廃止代替バスのダイヤも改正します。

今回の主な改正点は次のとおりです。

現在の循環線をより生活密着型とし、ルートを刷新したうえ増便を図ります。

停留所数は16から23と一層きめ細かくなります。

新たに、「市原・桜堂循環線」、「市民公園線」（循環線から分離）を創設します。

廃止代替バスの回送区間を合理的に運行し事実上の増便を図ります。

遠距離通学児童生徒等の利便性を向上させたダイヤ改正を行います。

### ◎新生3系統の コミュニティバス

#### 循環線

毎日運行 一日4循環  
一周9.5 km 25分

#### 市原・桜堂循環線

月々金運行 一日3循環  
一周6.3 km 17分

#### 市民公園線

日祝日及び土曜日(第2・4及び春・夏休み中の全土曜日)  
片道3.6 km 7分

なお3路線とも指定した年末年始は運休します。  
料金は従来どおり  
**100円**です。  
(未就学児は無料)

### ◎改正後の 廃止代替バス

一部通常時の下校使用便の代わりに学校行事(始業式・終業式・卒業式)による特別ダイヤを採用して児童生徒の下校時のバスを確保します。なお、この際一般の利用者には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

一部に夏ダイヤ、冬ダイヤを充実させて利用者の利便性を高めます。

瑞浪駅前発、木の暮・下沢經由、釜戸郵便局前行を午後一便増便します。

釜戸⇨大湫線のルートに細久手・大湫間を追加し、この間の乗降ができるようになります。

各路線のダイヤ路線図等は別冊資料にあります。(全戸配布)

路線バスは市民の大切な足として無くてはならないものです。これらを今後も維持してゆくためには多くの皆様の利用が不可欠です。みんなで地域の足を守りましょう。

#### 時刻変更のお知らせ

来る3月23日(金)と26日(月)の両日次のとおりダイヤを変更しますのでご了承ください。

#### 釜戸⇨平山線

釜戸郵便局前16時15分発を  
11時40分発に

#### 日吉線

11時15分瑞浪駅前発細久手行を  
箕打・天神前行に  
16時5分日吉学校前発半原・本郷經由瑞浪駅前行を  
12時35分発に

担当 商工課 内線481  
写真は新規導入のブルーリバー号

瑞浪中央土地区画整理事業地内

## 保留地販売(第13回)

瑞浪中央土地区画整理事業に伴う保留地を、公開抽選により売却します。

また、公開抽選以外の保留地についても、随時販売しておりますのでご検討ください。

保留地の位置、地積、価格等

位置図および別表のとおり

販売方法 = 公開抽選

(公開抽選以外の保留地は先着順)

受付期間および場所

### 【公開抽選受付】

- ・ 区域内の関係権利者

3月22日(木)～3月23日(金)

- ・ 一般の方

3月26日(月)～3月30日(金)

(ただし、関係権利者からの申し込みがない場合)

受付時間 10時～15時

- ・ 受付場所 瑞浪市役所区画整理課(2階)

抽選日および抽選場所

- ・ 日時 4月6日(金) 14時

- ・ 場所 市役所2階大会議室

申し込みに必要な書類

身分証明書(市町村長が発行する、禁治産または準禁治産の宣告、後見の登記、破産宣告の通知を受けていない者であることを証明する書類)

住民票抄本(法人は法人資格証明書および、代表者証明書)

問い合わせ 区画整理課 ☎内線251

用途地域については、区画整理課へお問い合わせください。

A 第1種中高層住居専用地域、B 第2種中高層住居専用地域

C 第2種住居地域、D 近隣商業地域、E 準工業地域

## 抽選により売却する保留地

No	街区	画地	枝番	面積(m <sup>2</sup> )	販売価格(円)	単価(円)	用途地域
1	1	2		400.69	25,203,401	62,900	E
2	59	6		187.53	15,058,659	80,300	B
3	70	1	1	345.28	31,800,288	92,100	B
4	70	3	1	317.11	26,478,685	83,500	B
5	75	28	1	278.99	21,175,341	75,900	D
6	75	28	2	278.70	18,477,810	66,300	D
7	75	29	2	166.75	11,055,525	66,300	D
8	80-2	2	1	484.40	35,506,520	73,300	C
9	123	2		280.03	23,018,466	82,200	A

面積は確定測量により増減します。

# 土地売ります!!

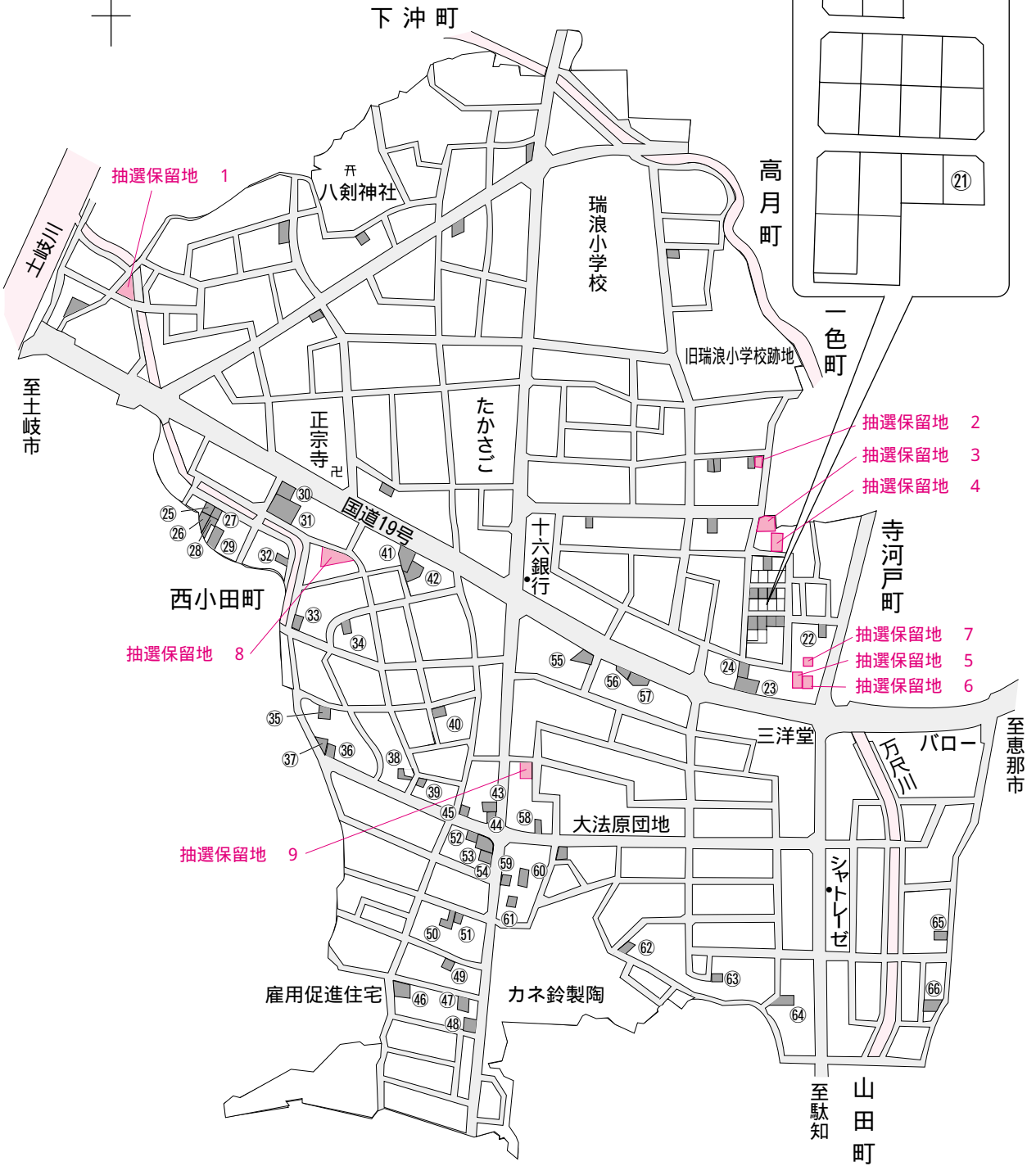
## 公開抽選以外で随時売却中の保留地

No	街区	画地	面積(m <sup>2</sup> )	販売価格(円)	単価(円)
	3	4	411.47	24,729,347	60,100
	11	7	154.55	10,818,500	70,000
	13	7	180.04	13,503,000	75,000
	19-2	4-1	200.00	14,660,000	73,300
	23	8-2	286.63	24,650,180	86,000
	26	3	198.38	14,680,120	74,000
	32	2-1	300.00	25,200,000	84,000
	52	1-1	196.23	14,422,905	73,500
	59	2-1	217.89	17,344,044	79,600
	59	2-2	223.40	17,782,640	79,600
	59	5	304.14	24,209,544	79,600
	64	2	196.97	17,727,300	90,000
	69	3-1	304.95	27,445,500	90,000
	74	2-1	172.00	12,900,000	75,000
	74	4-1	167.14	13,036,920	78,000
	74	4-2	168.18	12,613,500	75,000
	74	4-3	168.15	12,611,250	75,000
	74	6-1	216.48	16,885,440	78,000
	74	6-2	214.33	16,074,750	75,000
	74	6-3	173.25	12,993,750	75,000
②①	74	6-4	166.99	13,108,715	78,500
②②	75	5	156.44	12,984,520	83,000
②③	75	17	767.37	113,647,497	148,100
②④	75	22-1	231.41	18,397,095	79,500
②⑤	78-2	2-2	212.09	15,652,242	73,800
②⑥	78-2	2-3	208.04	14,750,036	70,900
②⑦	78-2	2-4	211.55	15,612,390	73,800
②⑧	78-2	2-5	257.06	18,174,142	70,700
②⑨	78-2	2-7	239.26	17,657,388	73,800
③⑩	79	1-1	739.00	82,472,400	111,600
③⑪	79	8	1,522.92	143,763,648	94,400
③⑫	80-1	2-2	177.14	12,842,650	72,500
③⑬	81	15	205.20	16,128,720	78,600
③⑭	82	1-2	195.15	14,480,130	74,200
③⑮	87	2	313.12	23,390,064	74,700
③⑯	87	13-1	510.71	42,593,214	83,400
③⑰	87	13-2	567.93	43,389,852	76,400
③⑱	88	7-2	257.07	14,627,283	56,900
③⑲	89	1	177.06	13,013,910	73,500
④⑩	91	1	492.54	36,447,960	74,000
④⑪	98	4	371.73	39,626,418	106,600
④⑫	98	11	210.48	20,584,944	97,800
④⑬	101	4	365.56	33,192,848	90,800
④⑭	101	5	239.75	21,769,300	90,800
④⑮	101	9	188.93	16,191,301	85,700
④⑯	111	1	396.07	29,309,180	74,000
④⑰	111	7	240.00	17,760,000	74,000
④⑱	111	9	416.02	32,574,366	78,300
⑤⑩	112	5	159.16	9,549,600	60,000
⑤⑪	113	3-4	418.90	29,783,790	71,100
⑤⑫	113	5-2	165.01	12,326,247	74,700
⑤⑬	115	2	161.78	13,638,054	84,300
⑤⑭	115	3	308.60	28,298,620	91,700
⑤⑮	115	4	277.73	23,690,369	85,300
⑤⑯	116	5	893.93	91,985,397	102,900
⑤⑰	117	2	362.48	51,000,936	140,700
⑤⑱	117	3	366.63	44,618,871	121,700
⑥⑩	123	12	148.31	12,606,350	85,000
⑥⑪	124	19-1	185.42	15,612,364	84,200
⑥⑫	124	19-4	199.26	11,955,600	60,000
⑥⑬	124	19-6	203.16	15,237,000	75,000
⑥⑭	128	1	384.80	28,167,360	73,200
⑥⑮	128	6-6	242.86	17,000,200	70,000
⑥⑯	140	12	623.39	45,320,453	72,700
⑦⑩	149	11-1	260.88	20,348,640	78,000
⑦⑪	157	3-1	299.30	23,345,400	78,000

# 保留地位置図



デスモ君



①～⑥⑥は  
公開抽選以外で  
随時売却中の保留地

## 青少年育成モデル地区報告

### 地域で育せう心豊かな青少年を！

2月25日、平成12年度第3回瑞浪市青少年育成市民会議運営委員会が、総合文化センターで開催されました。はじめに、青少年育成市民会議の顕彰事業である青少年の健全育成に関わる善行者の皆さんが表彰されました。

#### 表彰状（敬称略）

山本 久美子（旧姓伊藤）

瑞浪中学校生徒会

#### 感謝状（敬称略）

田島 浩秀

伊藤 隆

夏目 修克

今井 弘

小木曾省三

羽柴多喜男

籙 幸雄

足立 哲郎

続いて、教育部会・青少年部会民生部会の活動報告がありました。

#### 教育部会

学校訪問（瑞浪中学校）

#### 青少年部会

学校訪問（瑞浪中学校）

「成人向け書籍類」の視察

#### 民生部会

「夏期特別街頭指導」

その後、青少年育成小集会活動モデル地区、本年度指定8地区の内4地区（4地区は前回に報告）からそれぞれ特色のある実践活動報告がありました。

#### 河 南 区（瑞浪地区）

- ・ 少子高齢化の典型的な地域
- ・ 竜門広場の花壇の植え替えや手入れ」「ふれあいシヨップの後片付け」などの奉仕活動
- ・ 子供から、区民、じいちゃん、ばあちゃんたちまでが共に活動しふれあった「ふれあいシヨップチャリティーバザー」「敬老の日の食事会」など
- ・ 区民総出の「日吉神社大祭礼」など

\* 諸活動を通し、子供達が元気な笑顔で、元気な挨拶をするようになった。そして、子供達の活動が地域づくりに貢献できた。

#### 須之宮区（稲津町）

半数以上が子供がいない家庭がある中、区民全体で協力し楽しくふれあう機会をもち、明るく豊かな子供達が育つ環境を作っていく

ことが、21世紀を担う子供達を送り出す区民の大切な役目である。

- ・ 環境美化・奉仕活動への参加
- ・ 「花壇作り」「須之宮花街道作り」「道路・河川の清掃」
- ・ 伝統的な地域行事への参加
- ・ 「夏祭り」「秋祭り」など
- ・ 子供から年輩者までより多くの区民の交流の場として「区民体育祭」を開催
- \* 今までにない人とのつながりや、区民全体の新しい交流の場が生まれた。



サツマイモを植える須之宮区民と子どもたち

#### 本 郷 区（日吉町）

区民同士の交流を図り、次世代を担う子供達の健全な育成を目指した。

- ・ 子供達の自主的活動を育てる。
- ・ 「オリエンテーリング」「七夕会」

- ・ 子供とお年寄りのふれあい（中学生も参加）
- ・ 「二世交流会」「敬老会」
- ・ 伝統行事
- ・ 「酒波神社祭礼」など
- ・ 区民総出の行事
- ・ 「区民マレットゴルフ大会」
- \* 地域全体で子供を育てるという意識が、区民に芽生えて来た。

#### 戸 狩 地 区（明世地区）

昨年から中学生の活動を支援することを始めている。「自主的な活動を通して、自分を発見しよう」住民が集まった場所で、中学生自ら計画したものを実践。

与えられた仕事をこなすことではなく、自分達で作り出す喜びを知ることを目指した。

- ・ 夏祭りふれあい広場への参加（中学生地域活動の会発足）
- ・ 「TOGGARIE」と命名
- ・ 夏祭りふれあい広場実行委員会に参加（代表2名）
- ・ 夏祭り当日「TOGGARIE」かき氷コーナーを出店
- ・ 盆踊りに参加（練習から）
- ・ 町民主張大会
- ・ 夏祭り後の反省会

\* 自分達の先輩が残した実績を次代へ伝えていってほしいと願っている。

老人と子どもの

ポルカ

稲津小ふれあい教室

代表 中根 辰良



おはじき遊び

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」の子どもたちの元気な声で、私たちの一日が過ぎていきます。  
私たちのふれあい教室は、稲津寿大学生三十名ほどが中心となり、毎週木曜日に稲津小学校の四年生から六年生までの子どもたちと昔の遊びをしたり、木工細工をしたりにしている教室です。

小学校を六十年前も前に卒業した老人に、今の子どもたちと仲良く遊べるだろうかと不安の気持ち一杯でした。しかし、実際に子どもたちとふれあってみると、この心配は無用のものでした。  
子どもたちは、昔の遊びにとっても興味を示したり、ものづくりに熱中したり、稲津町の史蹟や歴史の話には目をキラキラ輝かせて聞いてくれます。  
子どもたちは本当に素直でとてもいい子ばかりです。教科書では学べない、いろいろなことに真剣に取り組む子どもたちの姿は、頼もしささえ感じます。  
青少年のいろいろな問題が、連日のように報道されている昨今ですが、稲津の町にはそんな子は一人もいないと、子どもたちの姿を見ては、いつもみんな話合っています。  
私たち老人と子どもたちのふれあいを通して、また地域の人々との関わりの中で健全な子どもたちが育成できればと願っています。  
これからも、背伸びをしないで普段着のまま子どもたちとふれあい、楽しい老後を通して、毎週元気に学校へ通いたいと思っています。

奨学金制度のご案内

特に優秀な学力・資質を持ちながら、経済的理由により修学に困っている方のために、奨学金制度があります。

資格 高等学校または大学（短期大学を含む）に在学されている方で、市内に1年以上住所を有している方

奨学金額  
高等学校 月額2万円以内  
大学・短大 月額3万円以内

貸与方法 7月・11月・2月の年3回  
償還方法 卒業して6カ月経過後、10年以内で半年賦（6月と12月）で償還（無利子）

選考方法 教育委員会の選考会で決定

選考人員 若干名  
申込期限 4月27日(金)  
問い合わせ・申込先

教育委員会総務課 ☎内線461



少年柔道大会

3月4日、市民体育館で「第30回東濃地区少年柔道大会」が行われました。

当日は園児、小学生で構成された67チームが参加、熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

総合成績

優勝 瑞浪修徳館

2位 恵那市柔道協会

3位 土岐市武道館

3位 山岡町道場



生涯学習施設 4月の休館日

総合文化センター	2、9、16、23、30日
市民図書館	
市民体育館	3、10、17、24、27、28、29日
化石博物館 陶磁資料館 市之瀬記念美術館 地球回廊 サイエンスワールド	2、9、16、23日
文化会館	4、11、18、25日



巡回日	ステーション	時間
11日(水)	小里	15:30~16:00
	萩原	16:10~16:30
12日(木)	半原	15:30~15:50
	鶴城	16:00~16:20
	名滝	16:30~16:50
13日(金)	日吉コミュニティセンター	15:30~16:20
	月吉	16:30~16:50
19日(土)	大川	13:20~13:40
	水上	13:50~14:10
	旭町	14:20~14:50
	サニーヒルズ	15:00~15:20
	猿爪	15:30~16:30
20日(金)	明賀台	15:20~15:50
	新山田	16:00~16:20
25日(水)	棚田山	15:30~16:00
	羽広	16:10~16:30
28日(土)	薬師	13:30~14:00
	白倉	14:20~14:50
	細久手	15:00~15:20
	深沢	15:30~16:00

### 3月31日(土)『整理休館日』

ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。



▲「お話しの時間」での読み聞かせ

ミニ展のご案内

## 竹炭工芸品展

～ 黒い芸術の世界 ～

4月7日(土)～5月6日(日)



稲津町の永井五夫さんの竹炭・木炭の工芸品を展示します。  
永井さんは、2年ほど前より自作の炭焼窯で木・竹などを焼き、炭を花器・置物などの芸術品に加工しています。  
炭の効用が新たな視点から見直されている今、アートとして、炭の魅力・炭の新しい世界を味わってみてください。

図書館の強い味方!

## 図書館ボランティア

図書館は、たくさんの方々のボランティア活動によって支えられています。ボランティアのみならず、仕事や家事の合間に精力的に活動をし、図書館にとってかけがえない存在です。その中で代表的な活動をしている団体を紹介します。

### \*トロール

代表 榎 克子

4人

お話しの時間

(毎月第2・4土曜日)

子どもたちを対象に本の読み聞かせ・紙芝居・手遊びなど

### \*えんどつまめ

代表 永井かな子

6人

お話しの時間

(毎月第1・3土曜日)

### \*退職公務員連合会女性部

代表 松原 宜子

26人

図書の整理・補修など

図書館行事のお手伝い

(毎月4回 4グループ)

### \*図書宅配ボランティア

代表 小栗 勝秋

18人

図書館へ来られない一人暮らしの方などの自宅に、本を届ける。

(図書宅配日 毎月1回)

# 「シルバー人材センターと共に一年間」

社団法人瑞浪市シルバー人材センター事務局長 加藤 彰 久

信用金庫を定年退職後、気ままに過ごして半年が経ったころ、市役所関係施設職員の公募があり、公共の施設に関心をもって応募しました。早いもので一年が経とうとしています。

この間、東京で開催の全国シルバーの総会や「新任事務局長研修会」（全国から180名参加）他、事務局長会議・講習会・他県の先進シルバーへの研修視察などに参加して勉強をさせて頂きました。中でも公平な就業の難しさを痛感しておりますが、スタッフにも恵まれ、個性豊かな多くのシルバー会員さんや関係者の方々との出会いで、金融関係一筋の私にとって思いがけなく、いい体験ができありがたいと思っております。

シルバー人材センターは、高齢化社会の急速な進展に積極的に対応するために国や地方公共団体から助成を受けて運営



されている公共性、公益性の高い法人です。概ね60歳以上の健康な高齢者で、働く意欲を持った人は誰でも入会することが出来ます。長年培ってきた経験や能力を生かし、働くことを通して生きがいや求め、社会参加することで高齢化社会を支えようとする大きな役割を担っています。

当センターは平成4年4月に設立され、現在の会員数は四百名余、年間の仕事高は約1億5千万円にもなります。この内、公共からの仕事は施設の管理、公園や河川の草刈り等で全体の約20%を占めます。企業や家庭からの仕事は多種多様で、屋内外の軽作業を主として大工仕事や片づけの仕事などから、旅行で留守宅の猫のえさや植木への水やり等、挙げればきりが無い程あります。先ずは気軽にご相談いただきたいと思えます。

シルバー会員は高齢者ですから何よりも先ず安全な仕事が第一です。危険な仕事やリスクの大きな仕事は出来ませんし、雇用とみなされるような仕事もしないことになっています。シルバーの仕事は、親切、丁寧と言われ皆様に喜ばれることをモットーとしています。

会員皆さんの就業の情報発信地であり、憩いの場、ふれあいの場として親しまれる事務局でありたいと願っております。

## 『特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律』の勉強会\*より ②

\*平成12年10月20日、11月20日開催

【質疑応答】回答者は、資源エネルギー庁および科学技術庁の担当課長等

【質問1】超深地層研究所は、何のための研究？

【回答】地下400mあるいは1,000mのところでは処分しようという方針について、いろいろなところの知見を集めて、安全に処分できるだろうという見通しがついてきました。

しかし、知見では判らない点についてできるだけ詳細な研究が必要で、安全な処分技術を適用して将来的に処分していくためにも研究は大切であり、そのために研究を進めていくものです。

【質問2】超深地層研究所があるということで、概要調査地区に選定されるのではないかと？

【回答】概要調査地区の選定については、知事、市長の意見を聞いてその意見を尊重することとなっています。ですから研究施設があるからといって概要調査地区に選定されることはありません。このことは、『特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律』に定

められています。

また、知事、市長の意に反して選定されることはありません。

【質問3】核燃料サイクル開発機構が、現在行っている広域流動調査や研究が「文献調査」にあてはまっているのでは？

【回答】法律上の文献調査は、地震、火山、浸食、隆起といったような自然現象による地層の変動の記録、地震などの自然現象によって地層に著しい変動、大きな変動が生じた箇所がないというようなことを調査した文献をきちんと調べることです。

核燃料サイクル開発機構が行っている調査が、この調査項目にどこまで合致できるかが現状では詳しく判明できないので、一概にあてはまるかどうかはいえません。

担当 企画政策課 ☎内線332

## 多治見西高ソフトボール部 春の高校選抜大会に出場



多治見西高グラウンドにて

来る3月23、26日に、東京都で開催される「第19回全国高等学校ソフトボール選抜大会」に多治見西高等学校が出場、主将の小出知美さん（二年生）が選手宣誓することが決まりました。

チームでは、小出さんと西尾梓沙さん（一年生）が瑞浪中学の出身、また8人が市内で下宿をしています。小出さんは、「スポ少で始めたソフトです。今回は、全国大会に出場できて嬉しい、チーム一丸となって一つでも多く勝ち抜きたい」と話していました。

## 災害に備え

### 協定結ぶ

3月1日、瑞浪市と協同組合メイト、バロー、ユニー瑞浪店の3事業所は、「応急生活物資の調達及び供給等に関する協定書」を結びました。

これは、阪神大震災や昨年の東海豪雨を教訓とし、被災者の生活安定のため、事業者から生活物資の優先的な供給を受けるものです。協定では、災害の程度に応じて、水、レトルト食品、下着など供給品目が決められ、市が状況により事業所に要請することになっています。

現在、市ではアルファ米三千食を備蓄していますが、この協定で、長期にわたる安定的な物資の供給が可能となりました。



消防本部足立総務課長(左)とメイト事務局市川氏(右)

## サイエンスワールド

### 後援会が発足

平成11年7月に開館した岐阜県先端科学技術体験センター（明世町）の活動を支援する後援会が、2月20日に発足しました。

これは、青少年を始めとして国民の科学技術に対する理解と認識を高めることを目的として、県下の企業や地元商工会議所などにより設立されたもので、今後、幅広く会員募集を呼び掛けて行く予定です。

来館者からは、「ここで実験したことを、家庭でもう一度試してみたい」との要望も多く、後援会がミュージアムショップを開設、実験グッズや科学工作資材等を販売していきます。

なお後援会長には、牛込進TYK社長が、副会長には、久米尚雄ソニー瑞浪社長、梅田昭博県PTA連合会長が選ばれました。



左から2人目が牛込会長

## 市長さん おしえて!



2月23日、保健センターで、明世小学校3年生26人が、高嶋市長と共に土岐川の和合狭窄部について学習を行いました。これは、ふるさと学習として地元明世町を取り上げ学習する中で、昨年6月から学んでいるものです。

この日は、学習発表のあと、市長が講師となつて、図を使いながら和合橋の架け替えなどについて説明、子どもたちからは、「新しい和合橋が出来たら、渡り初めをしたい」との願いもありました。



募集

瑞浪陶磁資料館作陶講座 ☎67 - 2506

## 『手捻りの五月人形』

小さくても元気一杯、可愛くて健やかな

五月人形を作ってみませんか！

**4月1日(日)** 9時～(要申込)

- ・参加費 1,200円
- ・講師 伊野重幸さん
- ・申込締切 3月29日(木)
- ・定員 先着40人



## 『多治見工業高校専攻科 卒業制作展』

3月28日(水)まで開催中

全国から集い学んだ29人の作品を展示。今、入館者の人気投票により「瑞浪市長賞」等を選んでいきます。締切は20日まで、あなたも投票してみませんか。次の企画展は、

瑞浪陶芸協会作品展『翔 shō』です。

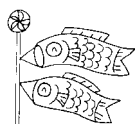
期間 4月1日(日)～4月30日(月)

21世紀元年、「美濃に我れあり」との気概を持つ、地元の作家10人が、その作品を世に問います。

## 『こいのぼり』募集中

家庭で不用になった「こいのぼり」がありましたらご寄贈ください。

頂いた鯉幟は、明世町の祭会場で大空に泳がせます。当日は「マスカみ大会」など楽しい催しがいっぱい。家族揃ってお出かけください。



瑞浪市民公園「こいのぼり祭」<sup>5/3</sup>～<sup>5/5</sup>

連絡先 文化施設課 ☎68 - 7710

催し

春休み親子映画会

アニメ「エンジェルがとんだ日」

**3月27日(火)** 13時30分～

総合文化センター ホール

入場無料

「重度の知的障害者は、生産能力には欠けているかもしれませんが、素晴らしい心をみんなに与える為にこの世に遣わされたのだと思います。

どうかひと時をこの美しき心の持ち主と接触して下さい。」(監督/山田火砂子さんの言葉)

(福祉事業充実のため、募金にご協力ください)

問い合わせ 瑞浪市社会福祉協議会 ☎68 - 4148

催し 土岐川堤 桜まつり

**4月1日(日)～15日(日)**

桜並木ライトアップ 19時～22時30分

\* 4月8日9時から、新たに完成した遊歩道のネーミング発表とテープカットが行なわれます。

- ・場所 寺河戸町明德稲荷～竜門橋
- ・問い合わせ 桜まつり実行委員会事務局(物産観光案内所) ☎67 - 2623

## 『みずなみ陶器まつり』

**4月7日(土)～8日(日)** (7日 10時～17時) (8日 9時～16時)

- ・会場 JR瑞浪駅前広場
- ・問い合わせ 瑞浪商工会議所 ☎67 - 2222

案内 『オープン幼稚園』のお知らせ

お子様と一緒に、楽しい一時を幼稚園という場所で過ごしてみませんか。お友達と誘い合わせて、ご来園ください。親御さん同志も仲良くなれますよ。

- ・日時 4月17日(火)スタート  
毎週火曜日の10時30分から12時頃まで
- ・場所 中京幼稚園ゆうぎ室
- ・人数 親子20組程(未就園児)
- ・問い合わせ 中京幼稚園(土岐町2197-1) ☎68 - 4425

参加無料

屋外 体育施設 ナイター利用のご案内

期間 4月5日(木)～10月29日(月)

市民野球場・市民テニスコートの利用申込は市民体育館 ☎68 - 0747へ

ただし電話での予約は出来ません

樽上球場の利用申込は瑞浪地区ナイター運営委員会 大西 ☎68 - 7471へ

\* 樽上野球場を利用・また観戦するときに路上駐車をする方がいます。これは他の通行者の妨げとなりますのでご遠慮ください。



見てね！

**3月27日(火)**

午後6時10分～  
岐阜テレビで放映

あなたの街から～瑞浪市

『釜戸まちづくり、飛び出せドラゴン21!』

釜戸町民が力を結集したまちづくり、竜吟峡に高さ7mの陶製の竜のモニュメントがほぼ完成しました。制作に携わったこの一年を振り返ります。

訂正とお詫び

広報みずなみ3月1日号5頁掲載の「陶町新年マラソン大会」小学校男子一位「岩島隼也」は「岩山隼也」の誤りでした。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

# 土岐川水系の良い川づくりを進める 「地域検討会」の内容をお知らせします

河川整備計画を策定する際には、地域住民の方々の意見を反映するため「地域検討会」を設け、みなさまから地域の状況を踏まえた具体的・地域的な助言、提言を頂いています。

今回の土岐川の河川整備計画策定については、2回の地域検討会（各分野・階層などの委員39人で構成）を開催しました。なお、いただいた意見は、今後の計画策定に反映したいと考えています。

## 第1回地域検討会

平成12年7月24日開催、会場：土岐市役所

土岐川流域の概要について、流域の自然として気象や水質および動植物など、人の営みとして人口、交通、産業、歴史および史跡・文化財など、また過去の水害の状況を示しました。

次に現状とアンケート（結果を本誌2月1日号に掲載）を踏まえ、整備を行う際の留意事項を抽出、河川整備イメージを提案し、委員のみなさまからの意見、質問を集約しました。

## 第2回地域検討会

平成12年12月21日開催、会場：瑞浪市役所

前回の主な意見を治水、環境、利用に分けて示し、河川整備の考え方・具体的な内容を回答しました。

治水面 「安心して暮らせる街にして欲しい。」

**回答** 治水、利水、環境の向上に資する河川整備を今後も積極的に推進、ハード面では河川整備の推進、ソフト面では、災害時の情報提供、防災訓練の実施、ハザードマップの公表なども考えています。

環境面 「土岐川の動植物の現状をもう少し詳しく把握して、土岐川整備に反映して欲しい。」

**回答** 貴重種の抽出だけでなく、一般種についても既存文献の整理や地元の環境研究者へのヒアリングを実施し、再度整理しました。

整備については、現況を保全する場合と整備する場合とが考えられますが、整備する場合には土岐川の動植物に配慮した、多自然型川づくりを実施します。

利用面 「人が利用しやすい川づくりができないか。川とのふれあいや学習機会を増やし、川の怖さ、楽しさ、川を大切に作る気持ちを育てる教育の場が必要と考える。」

**回答** 既に土岐町の日焼田橋～中央橋の約1km区間で「水辺の楽校プロジェクト」に取り組んでいます。治水上の安全を確保し、生態系を壊すことなく子ども達が安心して川とふれあい、自然を学べる川づくりを行っています。ここでは、河川本来の美しい景観を保ちながら、水遊びや芋煮会（毎年11月）が行われています。

次に整備の考え方をハード、ソフトの両面に分けて示し、ソフト面では、住民および行政でそれぞれできることを考え、土岐川の整備イメージ図を提案しました。主な意見及び回答の内容は、次のとおりです。

「既設の川に近づきにくい箇所を改善して欲しい。」

**回答** 現在、要請に対し、用地買収を伴わない場合は逐次行っています。

「住民の環境への関心は高いが、効果的に機能していないと思う。そのため、自然愛護サークルなどを設置したらよいかと思う。なお、野鳥の会が水辺の楽校付近で4年前より観測を行っており、サークルでこの結果を発表すれば、住民の環境への関心はさらに高まると思う。」

**回答** 今後設置を予定しているワークショップで、住民の方の意見や提案などが具現化できるものと思います。このワークショップは、子どもから高齢者まで、広く住民の方にボランティアとして力を貸して頂き、河川整備計画をよりよく具体的なものにすることを目的としています。

「2、3日前の新聞で、洪水を認めた考え方が示されており、今後の河川整備の方向性だと考えられる。ところで、この整備計画は、今後20年～30年後の整備を想定していると聞いたが、こうした考え方に配慮した計画とすべきではないか？」

**回答** そうした考え方は、河川整備計画の策定後のワークショップで行います。治水は地域一体の考え方が必要です。地域の意見集約が図られれば、宅地の嵩上げや輪中堤防も考えられます。河川整備計画は、その上位に位置するものと考えています。

「高水敷（普段は水の流れていない河川敷内の高い部分）の利用として公園などは可能か？」

**回答** 治水上、環境上などで問題がなければ可能です。

土岐川河川整備についての、ご質問・ご意見等は、岐阜県多治見建設事務所河川砂防課へご連絡ください。

〒507-8708 多治見市上野町5-68-1  
東濃西部総合庁舎

☎23-1111 FAX25-7224

e-mail : c26007@govt.pref.gifu.jp

# 介護保険制度を理解し、大きく育てましょう。

昨年の4月に始まった介護保険制度も、早いもので1年を過ぎようとしています。

瑞浪市においては、大きな混乱もなく認定申請受付や保険給付・保険料徴収などを行っています。市の高齢化率（65歳以上の人口に占める割合）も昨年4月の19.6%から現在では20%を超えようとしています。高齢社会に向けて、介護に対する関心も高まっています。

今一度介護保険でのサービス利用の仕組みをご理解頂き、この制度がみんなの制度として定着するよう願います。



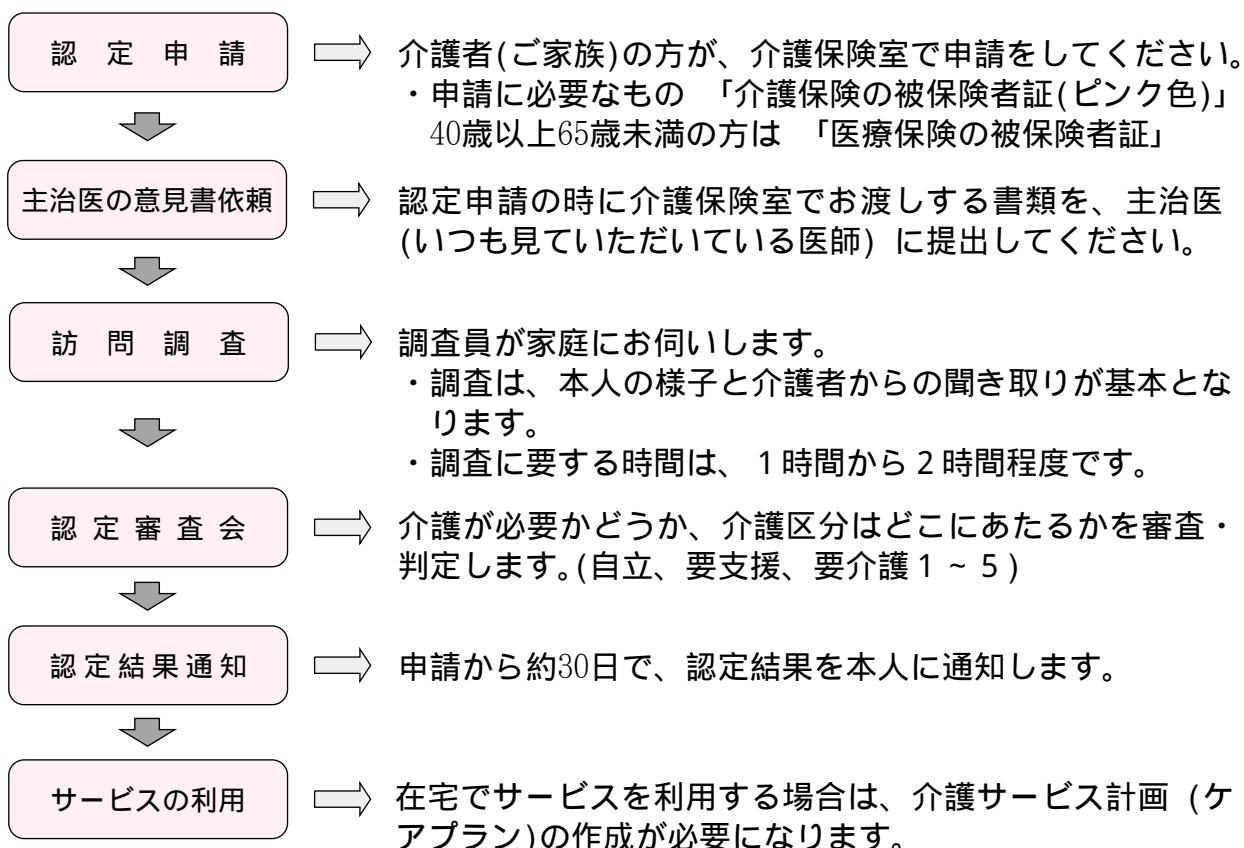
## — 介護サービスを利用するには **認定申請** をしてください —

介護保険による介護サービスを利用するには、まず、要介護認定の申請をし、本人の状態が要介護の基準に当てはまるかどうか、どの程度の介護が必要なのか審査を受けます。

この審査によって「介護が必要」と判定されれば、その介護度、手間のかかる度合に応じて介護サービスを利用することができます。

ただし、40歳以上65歳未満の方は、老化が原因とされる病気（脳血管疾患など15疾病）により介護が必要と認定された場合にサービスを利用できます。

### 要介護認定申請からサービス利用までの流れ



自立の認定を受けた場合は、介護保険でのサービスの利用はできません。

作成は、居宅介護支援事業者に依頼することができます(無料)。

お問い合わせ先 ・介護保険テレホン相談室 0120-68-2941 (直通・無料フリーダイヤル)

・介護保険室 ☎内線 152・153

## 健康相談 4月11日(水)

場所 保健センター

医師による健康相談 ... 14時30分～15時  
個別相談・血圧測定・尿検査を実施します

乳幼児相談 ... 9時30分～11時

身体計測と育児相談

\* 母子健康手帳を持参ください

栄養相談 ... 9時～15時

栄養士の個別相談 \* 電話予約が必要です  
相談日は毎月第1水曜日から第2水曜日に変更になりました。また、医師の相談の時間も変更しましたのでご注意ください。

## 精神保健相談

### 4月10日(火)

受付時間 13時～14時

場所 保健センター

ストレス解消の  
ヒント

\* 電話等予約  
が必要です

人と接する...誰かと話すことでイライラがすっきりすることも。仕事以外の仲間も大切です。趣味を持つ...趣味に没頭しているときは、嫌なことも忘れてしまいますね。

体を動かす...血行を良くし、疲労解消に効果のあるストレッチ体操は、特別な道具や場所がいりません。

笑う...笑いは免疫力を高めることが報告されています。あなたなりの「笑い」ある生活を。

## リハビリ教室に参加してみませんか

市では、40歳以上の方で、脳卒中などの病気の後遺症(障害)のある方を対象に、体操やレクリエーション・手作業などを通じて、楽しみながら心身の健康の保持・機能維持をはかる教室を行っています。

参加を希望される方は、電話などで保健センターへ問い合わせ・申し込みください。



↑理学療法士の指導により体操するみなさん

場所 ハートピア(市民福祉センター) ...月に2回  
陶宅老所『いちにのさん』.....月に1回

## 献血にご協力を!

1月26日、多治見駅前のプラザ・テラ4階に「多治見駅前献血ルーム」がオープンしました。「血液は病める人への最高の贈り物」です。みなさんのあたたかいご協力をお願いします。

受付時間 10時～13時 14時～17時30分

休日 毎週木曜日(日曜・祝日は開設)

## ●乳幼児健診・相談・歯みがき教室

〈場所=保健センター 料金=無料〉

健診・相談名	実施日	受付時間	対象者	持ち物
4カ月児健康診査	3月27日(火)	第1子は13時集合、第2子以上は14時～14時30分受付	平成12年11月生まれ	母子健康手帳
1歳6カ月児健康診査 * 健診終了後希望者に 歯みがき教室を実施 します	4月6日(金)	12時30分開始	平成11年10月1日 ～10月15日生まれ	母子健康手帳 コップ・タオル 保護者の歯科検診 を同時に実施します
	4月20日(金)		平成11年10月16日 ～10月31日生まれ	
6カ月児健康相談 および離乳食教室	4月3日(火)	9時30分 ～9時45分	平成12年10月生まれ	母子健康手帳
中期・後期離乳食相談	4月10日(火)	13時30分～15時	生後7カ月以降の乳児 電話予約が必要	母子健康手帳
2歳児歯みがき教室	4月5日(木)	9時～11時	平成11年4月生まれ	母子健康手帳 歯ブラシ、コップ
2歳6カ月児 歯みがき教室	4月10日(火)		平成10年10月生まれ	
6歳臼歯ムシ歯予防教室	3月29日(木)	14時30分開始	平成7年3月生まれ	母子健康手帳 コップ、タオル
	3月30日(金)		今年度未来所者	